

令和 7 年度における基本構想検討の進め方について

1 新博物館基本構想検討委員会について

基本構想は、令和 6 年度、令和 7 年度の 2 か年で策定することとしており、引き続き当委員会において継続して検討する。

2 次年度の取組み

- 基本構想検討委員会等の開催
検討委員会、企画運営会議、地域の博物館実務者との意見交換会 等
- 基本構想策定支援業務（委託事業）
基本構想検討支援、委員会等の運営、全体事業スケジュールの検討 等
基礎調査（下表のとおり）

令和 6 年度	令和 7 年度
①持続可能な博物館事例調査 ②収蔵庫調査 ③事業費シミュレーション ④小中学校教員調査 ⑤デジタルアーカイブ調査 ⑥民間企業との連携に関するヒアリング調査	①重点テーマ事例・実態調査 ・検討委員会における議論を踏まえたテーマを設定し、県外先進地や県内博物館等を対象とした調査を実施（テーマの例） ・連携（博学、官民、他館、研究機関、市民参画等） ・地域課題解決（文化観光、地域活性化等） ②中学生によるワークショップの開催 ・「どんな博物館なら行ってみたいか」等をテーマに中学生によるワークショップを開催 ③合理的配慮（インクルーシブ）に関わる調査 ・合理的配慮に係る先進事例の収集 ・障がい者団体や特別支援学校へのヒアリング調査

- 館蔵資料調査・台帳整理に向けた計画策定（委託事業）
山形県立博物館の未調査・未整理となっている収蔵品の保全・資料整理を行うための資料整理計画を策定

3 大まかなスケジュール（詳細のスケジュールは次年度委託業者と協議し決定）

令和 7 年 4 月～	委託事業者選定
(随時設定)	検討委員会・企画運営会議の開催（各 4～5 回程度） 実務者との意見交換会（2～3 回程度） ※ 基礎調査の進捗及び成果については委員会等で報告
令和 8 年 2 月	基本構想検討委員会における基本構想案の決定 パブリック・コメント
令和 8 年 3 月	基本構想策定